

第103回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

浅間山では、火山活動はやや活発な状況が続いており、今後も山頂火口付近に影響する程度の小規模な噴火が発生する可能性があります。

三宅島では、2月17日にごく小規模な噴火が発生しましたが、火山活動に全体として大きな変化はなく、やや活発な状況が続いています。二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられます。

阿蘇山では、火山活動は静穏な状況となっていますが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雌阿寒岳では、2月に地震増加がみられており、火山活動はやや活発な状況となっています。

霧島山では、新燃岳で1月下旬から2月上旬に地震増加や火山性微動が観測され、火山活動はやや活発な状況となっています。御鉢では、火山活動のやや活発な状況が続いています。

前回（2005年11月2日）火山噴火予知連絡会以降のデータを検討した結果、現在までの火山活動状況は以下のとおりです。

1. 北海道地方

①雌阿寒岳 [やや活発な状況]

- ・2000年以降、ポンマチネシリ96-1火口の噴煙高度や火口温度は低下傾向にありました。
- ・今年2月18～19日に火山性地震が多発し、その後もやや多い状態が続いており、火山活動はやや活発な状況となっています。火口近傍では注意が必要です。

②十勝岳 [やや活発な状況]

- ・62-2火口は噴煙活動が活発で、火口内は高温の状況が続いていると推定されます。火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口近傍では注意が必要です。

③樽前山 [やや活発な状況]

- ・噴煙の状況に変化はみられていないことから、A火口およびB噴気孔群では高温が続いていると推定され、火山活動はやや活発な状況で経過しています。火口近傍では注意が必要です。

④倶多楽 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

⑤有珠山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

⑥北海道駒ヶ岳 [静穏な状況]

- ・わずかな山体膨張が引き続き観測されています。
- ・山頂火口では緩やかな温度上昇やわずかな膨張傾向が認められていますが、噴気活動や地震活動に変化はなく、火山活動は**静穏**に経過しています。

⑦恵山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

2. 東北地方

① 岩手山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

② 秋田駒ヶ岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

③ 吾妻山 [静穏な状況 (火山活動度レベル1)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

④ 安達太良山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑤ 磐梯山 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [静穏な状況]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

② 草津白根山 [静穏な状況 (火山活動度レベル1)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

③ 浅間山 [やや活発な状況 (火山活動度レベル2)]

- ・一昨年12月以降、噴火は発生しませんでした。
- ・火山性地震および火山性微動は増減を繰り返しながら次第に減少する傾向を示していましたが、火山性地震は今年1月中旬から増加傾向となり、1月下旬～2月上旬には一時的に多い状況となりました。
- ・二酸化硫黄の放出量は昨年11月以降減少傾向を示していましたが、今年1月から2月にかけて一時的にやや多い状況となりました。
- ・また、昨年11月を最後に観測されていなかった微弱な火映現象が今年1月末から2月上旬にかけて再び観測されています。
- ・しかし、深部へのマグマ注入によると考えられる山体の膨張は昨年6月頃から次第に鈍化し、昨年10月以降収縮に転じています。
- ・浅間山の火山活動は**やや活発**な状況が続いており、今後も山頂火口付近に影響する程度の小規模な噴火が発生する可能性があります。火口周辺では引き続き注意する必要があります。

があります。

④ 新潟焼山 [静穏な状況]

・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑤ 焼岳 [静穏な状況]

・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑥ 御嶽山 [静穏な状況]

・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑦ 白山 [静穏な状況]

・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑧ 富士山 [静穏な状況]

・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑨ 伊豆東部火山群 [静穏な状況]

・今年1月と2月に一時的な地震増加とそれに伴うわずかな地殻変動がみられました。同様の活動はこれまでも見られ、火山活動に特段の変化はなく**静穏**に経過しています。

⑩ 伊豆大島 [静穏な状況 (火山活動度レベル1)]

・長期的なマグマの注入によると考えられる島全体の膨張傾向は継続しています。カルデラ直下のほか、西方沖及び島の東部では一時的な地震増加が時々みられていますが、火山活動に特段の変化はなく**静穏**に経過しています。

⑪ 三宅島 [やや活発な状況]

・山頂火口からの噴煙活動は活発で、二酸化硫黄放出量は1日あたり2千～5千トンで、依然として多量の火山ガス放出が継続しています。
・今年2月17日にごく小規模な噴火が発生しましたが、地殻変動や地震活動などにこれまでの傾向と比べて特に大きな変化はみられていません。
・三宅島では、今後も小規模な噴火が時々発生する可能性はありますが、火山活動には全体として大きな変化はなく、**やや活発**な状況が継続しています。また、二酸化硫黄を含む多量の火山ガスの放出は当分継続すると考えられます。
・今後も局所的に二酸化硫黄濃度が高くなることがありますので、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。また、雨による泥流にも注意が必要です。

⑫ 八丈島 [静穏な状況]

・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

⑬ 硫黄島 [静穏な状況]

・島の北部を中心とする沈降は継続しています。島内の噴気や周辺海域の変色水がしばしば認められていますが、火山性地震は比較的少ない状況で、火山活動は**静穏**に経過しています。

⑭ 福徳岡ノ場 [やや活発な状況]

- ・変色水が度々観測されるなど、火山活動は**やや活発**な状況で経過しています。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山 [静穏な状況 (火山活動度レベル1)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

② 阿蘇山 [静穏な状況 (火山活動度レベル1) ←2006年1月20日にやや活発(レベル2)から引き下げ]

- ・昨年4月以降、噴火は発生していません。また、湯だまり量の増加した昨年9月以降は小規模な土砂噴出、火口底の赤熱現象も観測されていません。
- ・湯だまりの表面温度は70℃前後の高い状況でしたが、昨年11月初め以降は60℃前後のやや低い状況で経過しています。
- ・火山性連続微動の振幅は、昨年12月下旬以降小さい状況が続いています。
- ・阿蘇山の火山活動は**静穏**な状況となっていますが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

③ 雲仙岳 [静穏な状況 (火山活動度レベル1)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、**静穏**に経過しています。

④ 霧島山

新燃岳 [やや活発な状況 (火山活動度レベル2) ←2006年2月1日に静穏(レベル1)から引き上げ]

- ・1月下旬から2月上旬に微小な火山性地震が増加しました。
- ・2月1日に継続時間4分の振幅のやや大きな火山性微動が発生し、その後も振幅の小さい火山性微動が5回観測されました。
- ・新燃岳では火山活動が**やや活発**な状況となっていますので、火口付近では注意が必要です。

御鉢 [やや活発な状況 (火山活動度レベル2)]

- ・2月15日に継続時間1分未満の振幅のやや大きい火山性微動が観測されたほか、火口縁を超える噴気も時々観測されるなど、火山活動は**やや活発**な状況で経過しています。
- ・火口内及び南側火口縁では引き続き注意が必要です。

⑤ 桜島 [比較的静穏な噴火活動 (火山活動度レベル2)]

- ・南岳では時折噴火が発生しましたが、桜島の噴火活動としては**比較的静穏**な状況で経過しています。
- ・火山性地震及び火山性微動は少ない状況で経過していましたが、1月下旬に微小な火山性地震が増加しました。
- ・GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)の膨張による変化が引き続き観測されています。

⑥ 薩摩硫黄島 [やや活発な状況 (火山活動度レベル2)]

- ・噴煙活動が**やや活発**で、火山性地震がやや多く、火山活動は**やや活発**な状況で経過しています。

⑦ 口永良部島 [やや活発な状況 (火山活動度レベル2)]

- ・火山性地震はやや多く、火山活動はやや活発な状況で経過しています。

⑧ 諏訪之瀬島 [活発な状況 (火山活動度レベル3)]

- ・噴火は頻繁に発生しており、火山活動は引き続き活発な状況で経過しています。特に2月6日から9日にかけて噴火活動が活発になり、187回の爆発的噴火を観測しました。
- ・十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時折降灰を確認しました。

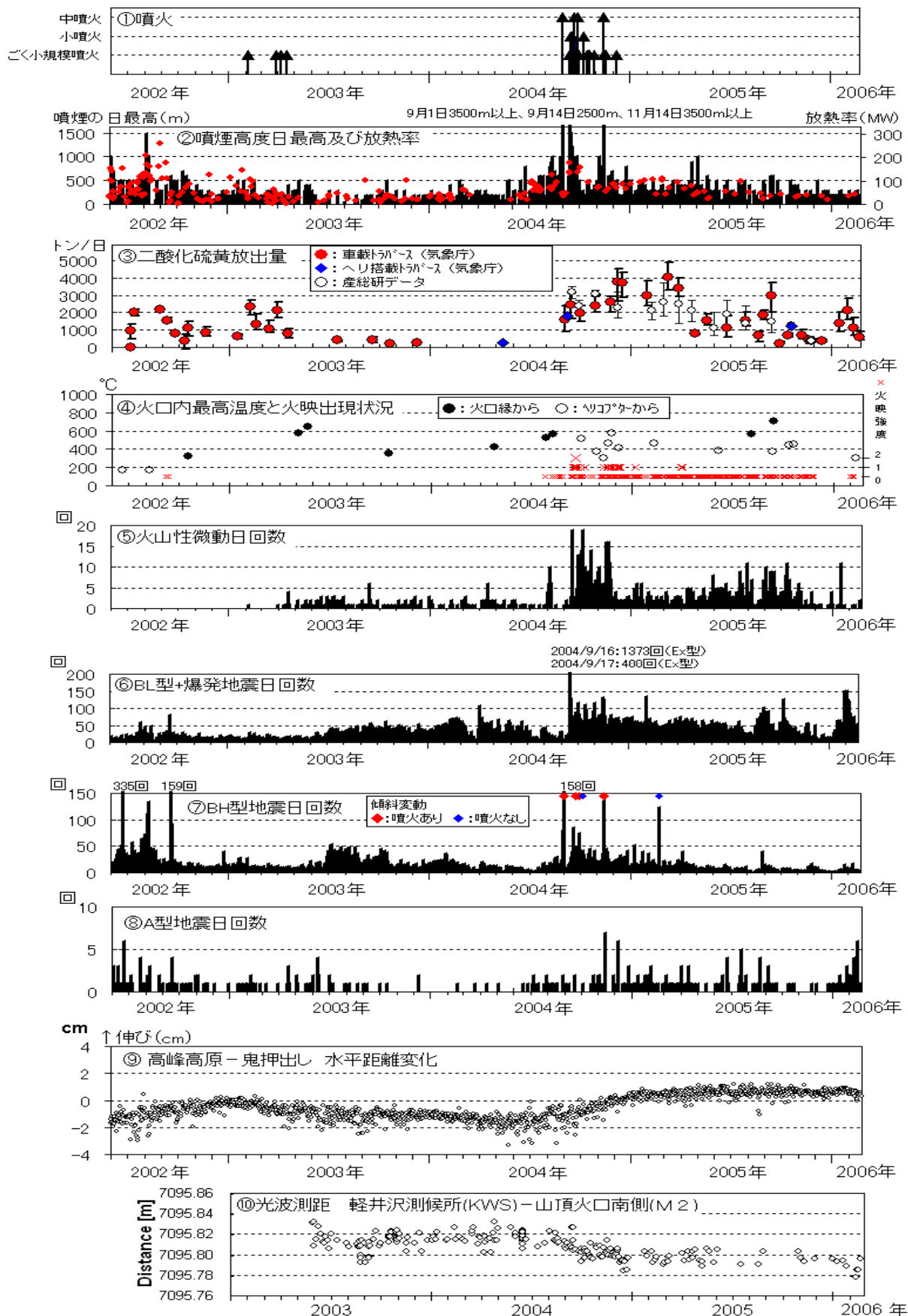
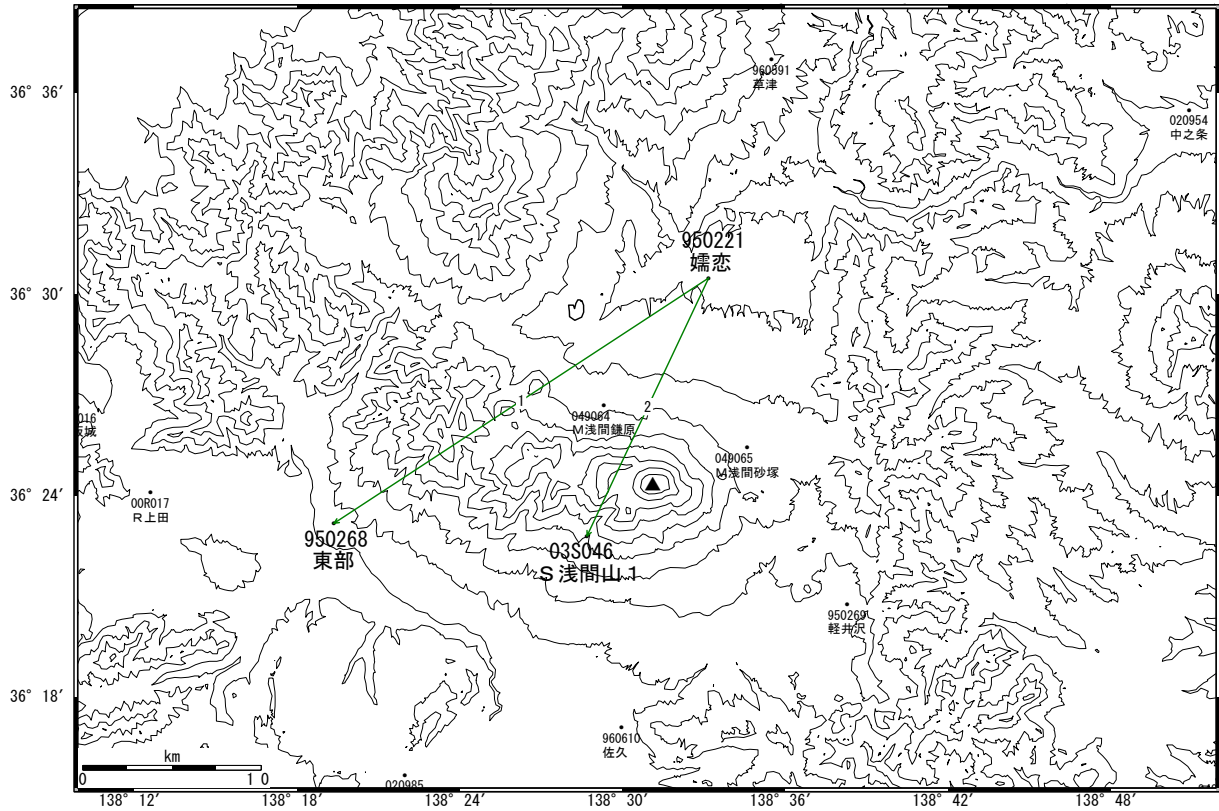


図 浅間山 最近の火山活動経過図 (2002年6月1日~2006年2月13日)

③の二酸化硫黄放出量グラフには産業技術総合研究所のデータも含まれている

浅間山周辺 GPS連続観測基線図

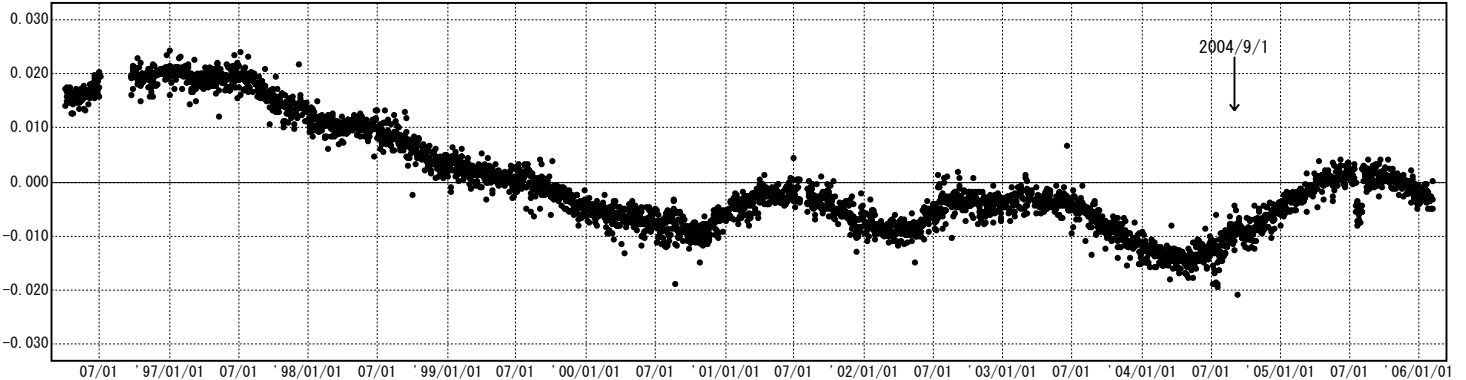


基線変化グラフ (全期間の変動)

期間 : 1996/04/01~2006/02/04 JST

(m) (1) 嬭恋 (950221)→東部 (950268) 斜距離

基準値 : 24675.132m

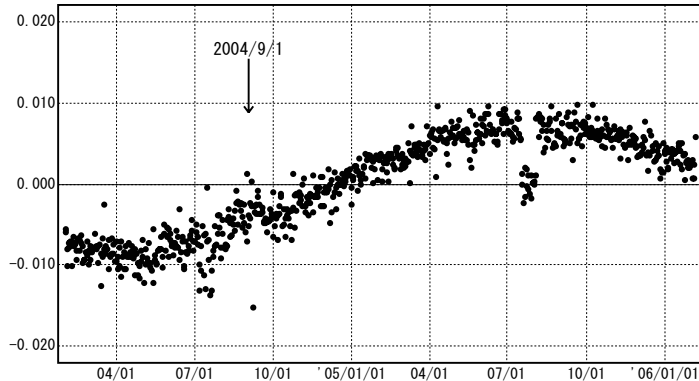


基線変化グラフ (最近の変動)

期間 : 2004/02/01~2006/02/04 JST

(m) (1) 嬭恋 (950221)→東部 (950268) 斜距離

基準値 : 24675.127m

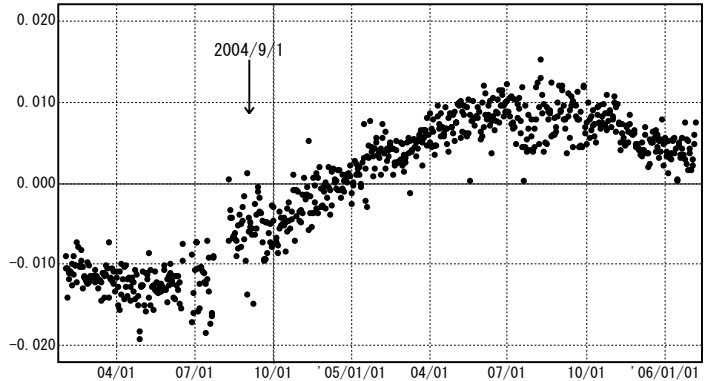


基線変化グラフ (最近の変動)

期間 : 2004/02/01~2006/02/04 JST

(m) (2) 嬭恋 (950221)→S 浅間山 1 (03S046) 斜距離

基準値 : 15720.069m



●---[F2:最終解]

※電子基準点の保守等による変動は補正済み。

国土地理院

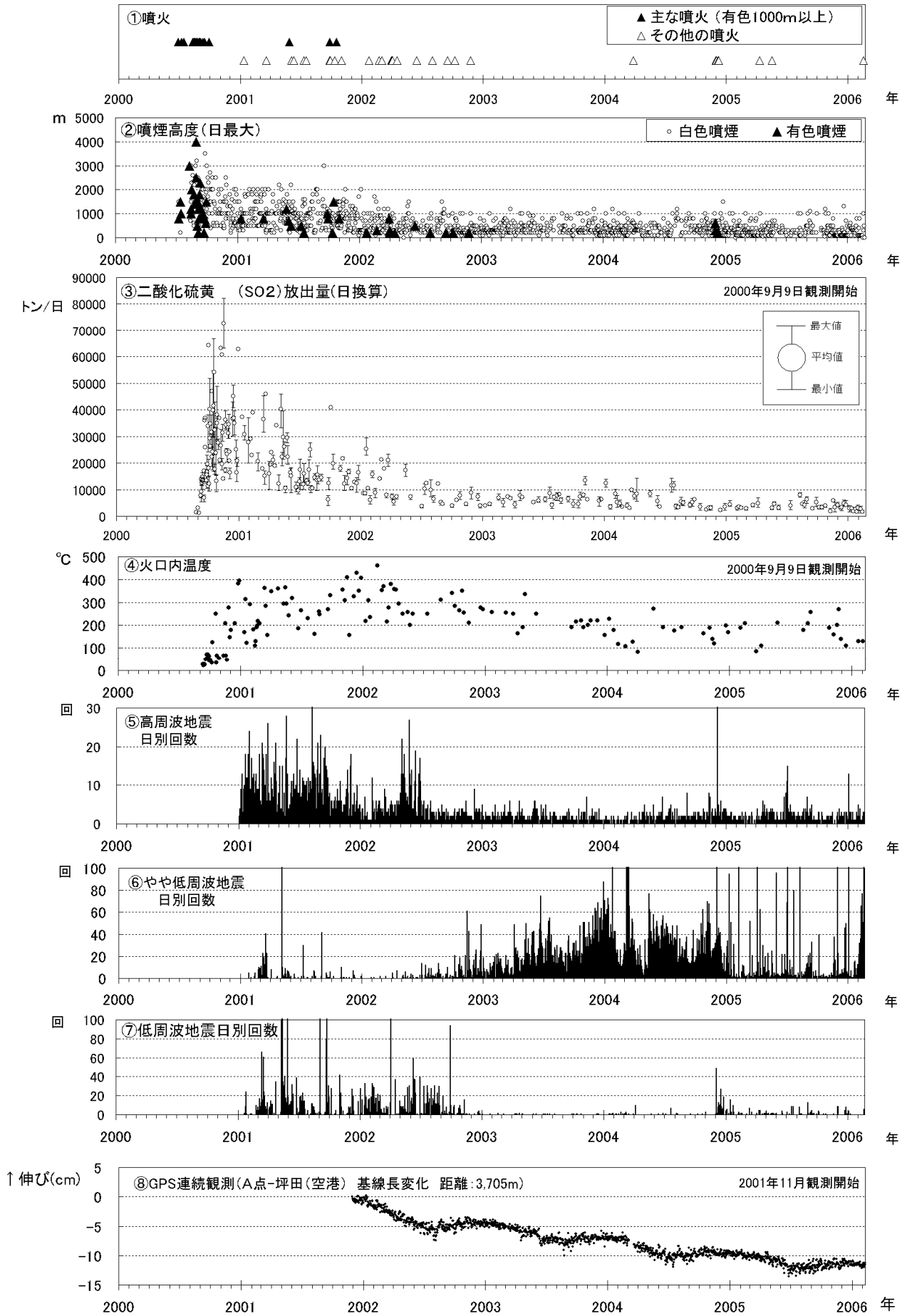


図 三宅島 火山活動経過図 (2000年1月1日~2006年2月20日)

雌阿寒岳

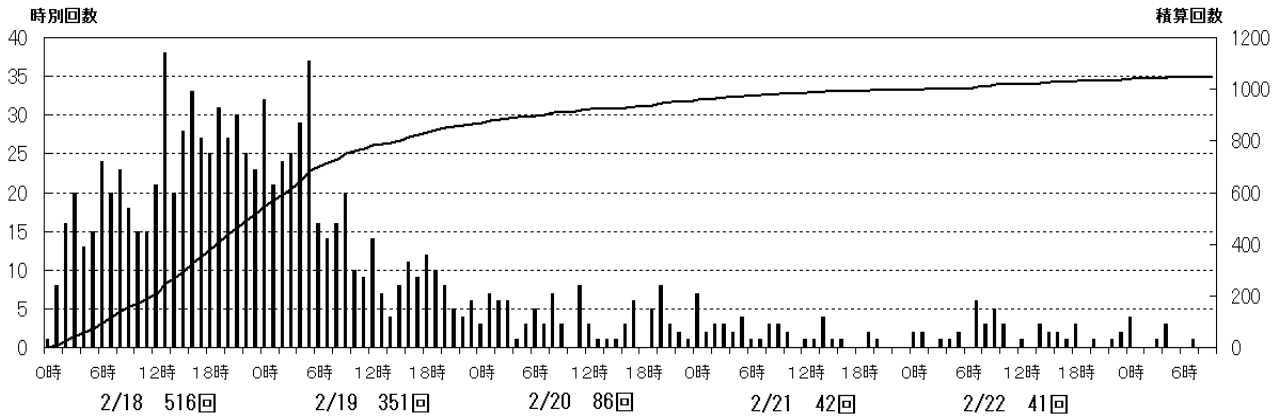


図1 時別地震回数(暫定値、2006年2月18日00時~2月23日09時)

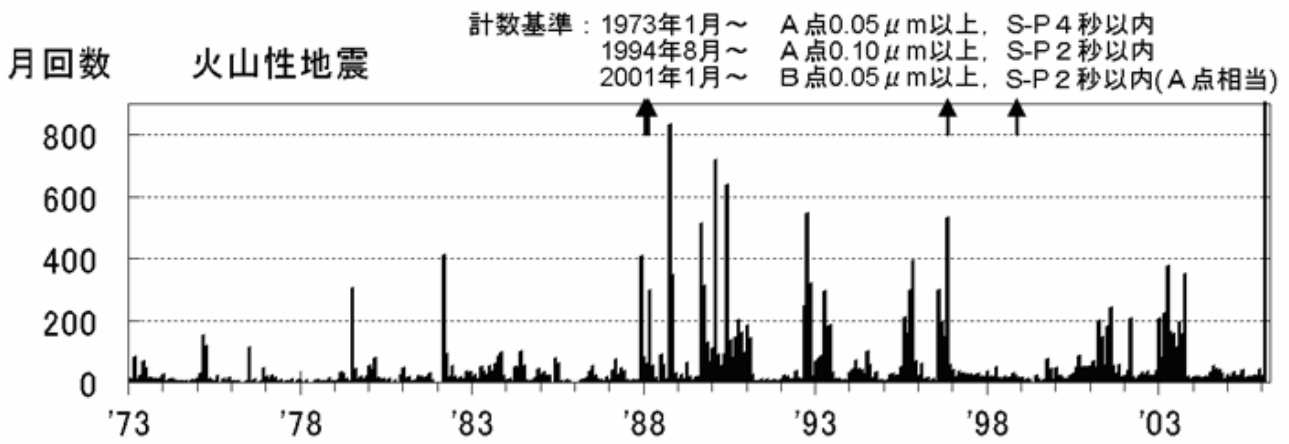


図2 火山性地震月回数 (1973年1月~2006年2月)

継続時間(分) 火山性微動

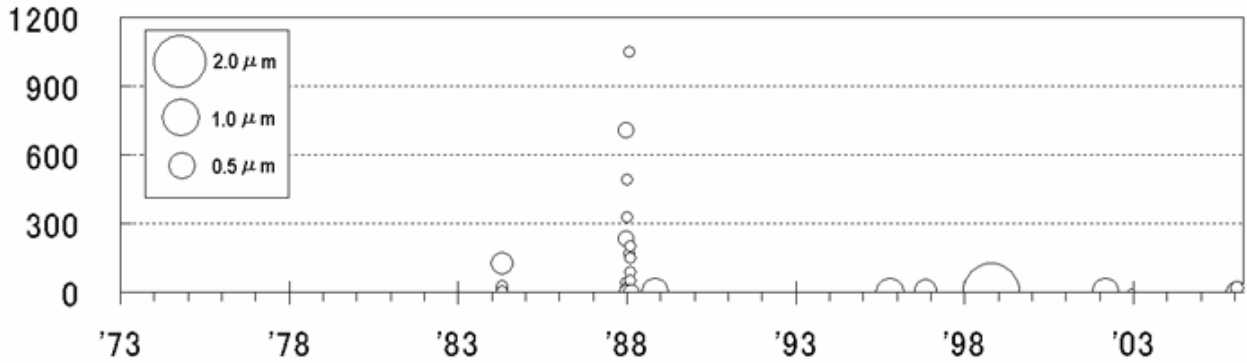


図3 火山性微動継続時間 (1973年1月~2006年2月)